

健康講座

大津市民病院大学レポート



7月29日(水)14時～15時、大津市民病院9階会議室にて平成27年度、第3回大津市民病院大学、健康講座を開催いたしました。

講師は、整形外科診療部長 小橋 裕明医師、テーマは「骨粗しょう症について」で、参加者は院内9名、院外59名の計68名でした。

内容は、骨の構造や機能、骨粗しょう症の定義とその原因、骨粗しょう症になると骨がもろくなり骨折しやすくなること、骨折しやすい部位、一度骨折すると特に高齢者では寝たきりになる

可能性があること、骨粗しょう症の治療(カルシウム・ビタミンD・ビタミンK等を含んだバランスのよい食事、適度な運動、日光浴、薬物療法)、骨粗しょう症の検査などについてで、参加者が理解しやすい表現を用いながらのとても分かりやすい講義でした。

終了後の参加者アンケートでも、「専門的な話が聞けて良かった」「丁寧で分かりやすい説明で、今日は参加して良かった」「大変勉強になった」等の感想が大半でとても好評でした。



次回の開催予定

9月17日(木)

「侮れない脂肪肝

～“メタボ肝がん”が増加しています～

高見 史朗 (消化器内科診療部長・肝臓部門)

10月1日(木)

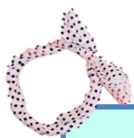
「歩いて治そう心血管病

～心血管病と心臓リハビリテーション～

木股 正樹 (循環器内科医長)

場所:大津市民病院9階大会議室

時間:14時00分～15時00分



緩和ケア病棟 夏祭り

第21回 総合内科症例検討会

場 所:大津市民病院9階A・B会議室

日 時:9月3日(木) 17:30～1時間の予定

テーマ:

発熱、全身倦怠感、著明な血小板減少を
認めた60代女性の1例

発表者:

桂川葉子医師(内科)



公開講座としていきますので、院外からも多数のご参加をお待ちしています。



8月19日(水)12:30～13:30、緩和ケア病棟のディルームで夏祭りが開催されました。会場は提灯やうちわなどでレイアウトされ、ヨーヨーつりが準備されたり、音楽を流したり、看護スタッフははっぴを着ておもてなしをしたりなど夏祭りの雰囲気さながらの催しでした。

また、ボランティアの方々にもお手伝いいただき、手作りのちらし寿司・そうめん・たこ焼き・かき氷・ミックスジュース・スイカなども準備されていました。

参加された患者様やご家族も大変喜ばれ、スタッフと一緒にはっぴを着たり、普段あまり食欲がない方が少しですがそうめんやたこ焼きを口にされたり、病室内で過ごされるが多かった患者様がディルームまで来られ、ご家族と夏祭りの雰囲気を楽しまれたりされていました。そこには柔らかな笑顔が一杯あふれ、患者様やご家族だけでなく病棟スタッフやボランティアさんも心に残るとてもいいひと時を過ごされていたようでした。

